

2017年12月25日

報道関係各位

ソフトバンク株式会社
株式会社オプティム

ドローンをはじめとするスマート農業ソリューションを 活用した実証実験を帯広で開始

～ドローン×AI×農業で生産性向上を検証～

ソフトバンク株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：宮内 謙、以下「ソフトバンク」）と株式会社オプティム（本社：東京都港区、代表取締役社長：菅谷 俊二、以下「オプティム」）は、火ノ川農場（所在地：北海道帯広市清川町）および帯広市清川エリアで、ドローンをはじめとするスマート農業ソリューションを活用した実証実験を、2017年12月から共同で開始しましたのでお知らせします。

ソフトバンクとオプティムは、今回開始した実証実験で、北海道帯広市内で大規模に栽培されている秋まき小麦について、帯広市清川エリア（約580ha）では固定翼ドローン「OPTiM Hawk」を活用した広範囲な空撮による地域全体の生育分析を実施しています。また火ノ川農場では、圃場（ほじょう）情報管理サービス「Agri Field Manager」を利用し、センサーから取得される外気温や湿度、照度、土壌温度や土壌水分、EC値（電気伝導率）、ドローンから取得される圃場の状態、農作業記録サービス「Agri Assistant」を用いて農業従事者が記録した情報などを取りまとめ、統合された作物の生育管理に取り組み、その商用化を検討します。

なお、この実証実験は、ソフトバンクが「第2回 SoftBank Innovation Program（ソフトバンクイノベーションプログラム）」※で選考した、「ドローン×AI×農業」をテーマにした案件です。

※ 革新的なソリューションや技術を持つ企業とソフトバンクのリソースを組み合わせ、新たな価値の創出を目指す取り組みです。詳細は SoftBank Innovation Program 公式サイト (<http://www.softbank.jp/biz/innovation/>) をご覧ください。

■ ソフトバンクとオプティム、各協力企業・団体の役割

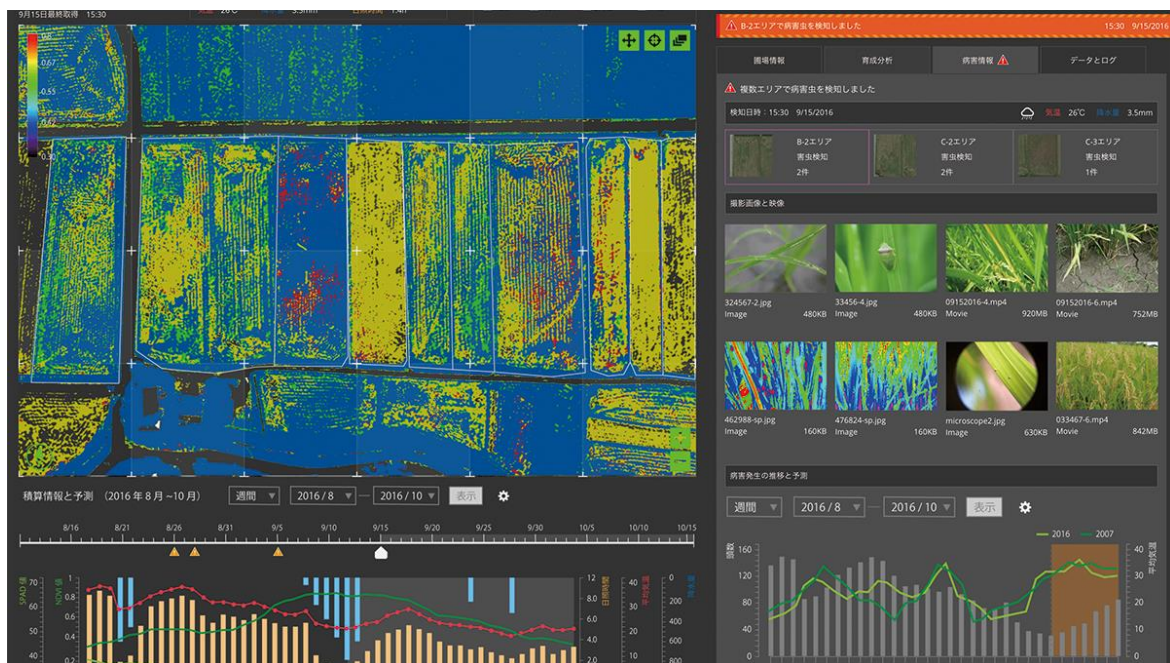
- ソフトバンク：ネットワーク、IoTプラットフォームの提供
- オプティム：「OPTiM スマート農業ソリューション」の提供
- 火ノ川農場：実証実験場所の提供とアドバイス
- 清川地区麦生産組合：実証実験場所の提供と取り組み支援
- 帯広市川西農業協同組合：取り組み支援
- 株式会社十勝毎日新聞社：取り組み支援
- 帯広市農政部農政課：実証実験のオブザーバー

■ 実証実験イメージ

「OPTiM Hawk」を活用した広範囲空撮イメージ



「Agri Field Manager」での生育管理イメージ



以上

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

【本件に関する報道関係者からの問い合わせ先】

ソフトバンク株式会社 広報室 担当：中垣 Tel：090-3910-4016

株式会社オプティム マーケティング広報担当：村上 Tel：03-6435-8570 E-mail：press@optim.co.jp